



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30
ホテル阪奈
〒574-0012 大東市龍間266-8
TEL : 072-869-0181
FAX : 072-869-0105



CREATE HOPE
in the WORLD

■会長:青田朝代 ■幹事:岩本静江 ■会報委員長:住川奈美

RI会長 ゴードン R. マッキナリー
2023~2024年度
国際ロータリー・テーマ
世界に希望を生み出そう

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

第 1142 回 例会 令和 6 年 2 月 7 日

開 会 点 鐘 : 12:30
ロータリーソング : 「奉仕の理想」
来 客 紹 介 : 親睦活動委員長
会 長 の 時 間 : 会 長
諸 報 告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
卓 話 : 「いざという時に役立つ介護知識」
閉 会 点 鐘 : 13:30 講師:有料老人ホームパティ若水 施設長 高橋辰美氏
担当:白川初美 会員

次回(2/21)のお知らせ

卓話:「国際奉仕月間に因んで」 田中正美国際奉仕委員

1 月 24 日の例会の記録

出席報告

会 員 数 : 23 名
出 席 者 数 : 11 名
欠 席 者 数 : 8 名
出席規定免除者数 : 4 名
出 席 率 : 57.89 %
11月15日 修正出席率 : 52.63 %
↓
57.89 %

お知らせ

- ・2/7(水) 作文コンクール作品審査 森原
19:00より 大東市教育委員会 研修/会議室
- ・2/10(土) 2024-25年度のための地区チーム研修セミナー 荒金
13:30 ~ 17:00 シティプラザ大阪 2階 旬
- ・2/14(水) 休会日
- ・2/21(水) 地区職業奉仕委員会16:00~ 荒金
- ・2/21(水) IM第3組燦々会(会長幹事会) 青田・岩本
18:00~ 帝国ホテル大阪



ニコニコ箱

- ・本日は卓話をさせていただきます。拙い話ですが宜しくフォーラムも宜しく。西垣会員
- ・西垣会員卓話よろしくお願ひします。 荒金会員
- ・西垣会員卓話楽しみにしております。 大東・白川・岩本 各会員
- ・クラブフォーラム西垣さんよろしくお願ひします。 寺田会員
- ・寒いすネ！西垣会員卓話楽しみです。よろしくお願ひ申し上げます。青田会員
- ・今朝はとても寒いす。皆様お身体大切に。 岩本会員
- ・寒中お見舞い申し上げます。お身体を大切にガンバって下さい。清水会員
- ・次年度理事会おつかれ様でした。 北田会員

当日計	¥21,000
今期累計額	¥533,000

《 会長の時間 》



会長 青田 朝代

こんにちは。我々は日本人ですが、日本人としてのアイデンティティをどれほど確立できているのでしょうか？

アイデンティティとは、自分が何者であるのかを認識して他者と区別できる状態をいいます。その根幹は「自分のルーツを体得していること」です。……例えば、日本人であり、大阪に生まれ育ち、どんな親から生まれ、祖先は何をしていたか。

最も土台となるのは、「日本人であること」です。ただ日本に生まれただけではなく、日本の「言語」や「歴史」や「文化」が自分の身の内に入っていることが日本人としてのアイデンティティの確立となります。

今後、会長の時間で奈良時代に記された『古事記』に関して多く取り上げていくことになると思います。それは、『古事記』が日本民族の神話と大和心を伝えるものだからです。

20世紀を代表する歴史学者にトインビー(Arnold Joseph Toynbee) という方がいるのですが、彼は「12～13歳までに民族の神話を学ばなかった民族は、例外なく滅びている」と言っています。——彼の著作が最も読まれた時期が1940年代～1950年代。終戦時です。

民族の精神には3つの重要な側面があると言われています。「自然観」・「死生観」・「歴史観」。自然や、生と死や、歴史をどう捉えるか。どのような価値観を持つかによって、民族の行動が変わります。だから、神話を知ることが重要なのです。

1冊でこの3つを学ぼうと思ったら、『古事記』が最適な書です。日本人が人生で1冊だけ読む物語を選ぶとしたら『古事記』であるべきだともいわれます。漫画や絵本で十分ですから、一読して頂けると幸いです。

さて、今日は辰年にちなんで龍神と、龍の持つ「珠」に関連したお話をしたいと思ひます。



龍は干支の中で唯一の架空の生き物です。西洋のドラゴンとは別系統で、中国では皇帝の象徴とされています。また、龍は始めから龍なのではなく、長い年月をかけて成長して龍になります。

日本では水の神としての性質が強く、雨・風・雷などの天候を操ることができます。嵐を呼ぶのは「鬼神」とも共通する性質で、両者ともに人間世界の秩序の外の生き物であるといえます。

そんな龍神は手に丸い珠を持っています。「如意宝珠」と呼ばれるこの玉は、持ち主が如意自在の力を発揮することのできる仏宝(仏を宝物にたとえた語)です。……漫画の『ドラゴンボール』は如意宝珠がモチーフだと思われます。

そんな途方もない力をもたらす龍の珠の力の源泉は何でしょうか？

——龍の靈力。

では、その靈力はどこに宿っているのでしょうか？

——それは「魂」です。

これは生き物の本体が「魂」なのか？「肉体」なのか？という問いに関わります。古代には生命がいつ始まって、いつ終わるのかは、神秘のベールの向こうに隠された事柄でした。

そこで、古代人は、命の始まりと終わりは魂と共にあると考えました。肉体に魂が宿った時が命の始まり、肉体から魂が離れた時が死ぬときなのです。

——つまり、古代人にとって、命の本体は「魂」です。靈力も当然「魂」の方に帰属していると考えます。

古代において、「珠(たま)」はしばしば「靈魂」を表します。

「魂」の丸い部分が「玉」、長く伸びている部分を「緒」と呼びます。長く伸びたものを「を」と呼んでいたのです。尻尾の「尾」も、紐の「緒」も、漢字は違いますが表す概念は同じです。「勾玉」も「玉」と「緒」で構成されています。そして龍神の「珠」。この3つの「たま」は同じ概念を表しているのです。

——すなわち、靈魂です。

古代人はなぜ靈魂を重視し、装身具として身につけようとしたのでしょうか？

——古代、魂のふるえは生命力を発動させると信じられていました。

魂がふるえるとは、心が動くこと、つまり、感動することです。例えば、音楽ライブや野球やサッカーを観覧して、感動したとき、内からぐあっとエネルギーが湧いてきませんか？

神様に対するお願い事も同じで、神様にお願いを聞いて頂くには、神様の心を動かして耳を傾けてもらわなければなりませんし、神様に活力みなぎる状態で力を奮って頂かなくてはなりません。

日本の神々は、人間と同じように感情があり、心がある方々です。人の原動力が心であるように、神様にも感動して頂くことが大切なのでしょう。そこで古代の人々は、神々に和歌や、舞や、相撲などを奉納して祀ってきました。

(さらに踏み込めば、日本の神々には水の神や火の神といった自然を擬人化した神々と、アマテラスのように我々の祖先の化身である神々や、菅原道真のような人から神となった両者が混在しています。

私たちが自分の子供や孫の文化祭や運動会の際に強く心動かされるように、神



主がその神の子孫や縁のある人だと、なおさらお願いを聞いてもらえるかもしれないね)

今お話しした芸事の奉納は間接的な手法で、古代人はもっと直接的な手法も用いました。

——丸い玉のついた物を振ることで、対象の魂を震えさせるのです。

これを「魂振り（たまふり）」と言い、神道における呪術の一つです。古代人は「振る」という動作に「生命の活性化」を見出していたようで、神道の動作でよく行われます。

思えば、肉体においても、寒くて凍えているとき、自然と体が震えて、熱を生み出そうとします。そのような現象や先ほどお話しした魂の活性化を繋げていたのかもしれない。

この「魂振り」を謳った和歌が万葉集に選ばれています。

——初春の初子（はつね）の今日の玉箒（たまばはき）手に執（と）るからに揺らく玉の緒——

宝石の玉のついた箒を使い、皇后陛下が新年最初の子の日に養蚕室を掃き清めて、養蚕の神を祀る儀式のことを歌っています。同時に、この箒についての玉を揺らすことで、魂も揺れている。「魂振り」を生き生きと歌っています。

玉箒は正倉院御物に2つ現存していて、今月はその内の1つが富岡県高岡市の博物館で展示されています。

珠について、民俗学的にもう少し掘り下げてみようと思います。日本には、龍神の如意宝珠のように、玉の力を得ようとする物語が数多く残されています。

「珠取り」説話と呼ばれるこのお話群は、人間世界の外部の象徴たる「珠（たま）」を人間世界に持ち帰り、人間の管理下に置く、というモチーフで描かれます。外部の力や霊力を「珠」という目に見える形として表現して、それを取得するのです。

取得方法は、主に外部勢力との①結婚、②退治、③追い祓いの3パターンに分類されます。

王権説話が特にこのモチーフを好みました。王権説話とは、王位の正当性を説明する物語群です。その原型とされるのが、『古事記』に記された山幸彦（やまさちひこ）と豊玉姫（とよたまひめ）の物語です。

この物語は日本の成立に深く関わるお話ですので、皆様に知って頂きたいと思っています。

天照大御神の孫は、高天原の神々の承認を得て、地上を治めるために舞い降りました。彼は、山の神の娘にあたる花の女神と結婚し、男の子を3人儲けました。

その末子が山幸彦。普段は田畑を耕していました。

山幸彦は海の下にある宮殿で豊玉姫という海の神の娘と出会い、結婚します。地上に戻る時に「潮満瓊（しおみつたま）」と「潮涸瓊（しおひるたま）」という宝珠を手にして、この宝珠の力で兄を臣下に下し、父の後継者となりました。

これはアマテラスの子孫が、天の加護、山の神の加護に続いて、海の神の加護を得たことを示す物語です。



物語に出てくる「豊玉姫」や「潮満瓊」は、「玉」を冠する名前の通り、海の神の宝、魂、力を具体的な形にしたものです。民俗学の観点からみると、「珠」の機能は丸い宝石だけではなく、人やその他の宝物にも当てはめられることとなります。また、神話として読む上で最も大切なポイントは、外部の力を取得するために「結婚」を用いていることです。

このお話は豊玉姫だけですが、これ以前も以後も、日本は神々の「結婚」によって国土が作られ、海や川が作られ、山や谷が作られ、火や穀物が作られました。

アマテラスの子孫は代々結婚によって仲間を増やし、力を拡大させていきました。これは初代天皇以降の日本の成立過程と政治手法が一致しています。日本が戦争ではなく、婚姻を積極的に用いて国を統一していったという弥生時代の姿が見えるのです。その象徴が「豊玉姫」という名前に「当時最も尊ばれた魂の象徴」＝「玉」を関した女神の存在です。

——『古事記』は日本の国造りの基本は「結婚」であると暗に伝えています。

経営者としての皆様に考えて頂きたいのは、「結婚を望む適齢期の若者が結婚しやすい職場環境とはどういうものか？」ということです。若者が明るい未来を描ける先に、国の未来があると思います。

[幹事報告]

岩本 静江

- ①IM3組ロータリー参加のお願い 「世界から大阪へ2025」
- ②能登半島地震支援金30万円 会合費からニコニコへ振替で、社会奉仕より支出。
- ③1/31(水)は休会日です。お間違えの無きようよろしくお願いいたします。

次年度幹事 大東 雅代

2024～2025年度大東中央ロータリークラブ 第1回次年度理事会 議事録

2024年 1月 24日(水) 例会前 ホテル阪奈 例会場にて

- 1、次年度会長挨拶 清水順市
- 2、出席者確認： 出席者 清水順市・青田朝代・寺田晟二・北田宗男・
岩本静江・大東雅代
欠席者 吉村悦子・庵谷和宏・荒金正之・白川初美・
西垣文雄・住川奈美

3、協議事項

- ①次年度理事会日程スケジュールについて
今後の次年度理事会開催時間について
次年度理事会は例会前に開催
- ②委員会構成について
各委員長へ小委員会委員長、委員決定のお願い
- ③その他
次年度理事会メンバーLINEグループ作成について 承認

4、閉会



●)) 先週の卓話 ((●



「 RI 職業奉仕月間に因んで 」

職業奉仕委員会

委員長 西垣 文雄

職業奉仕の理念については先の情報集会で私なりにお話をしましたが、今月は職業奉仕月間であり職業奉仕についての理解を一層深めると共にクラブフォーラムを通じ幅広くロータリーを勉強願えればと思います。

そこで私は職業奉仕についてロータリーの原点に戻って、各社各人の職業について、入会時の職業分類上のお話ではなくもっと具体的なお話、例えば何が得意でこんなことは我が社にお任せとか収益の源はこれだとかといったお話を3分間スピーチお願いし会員間の職業認識を深めていただく自社、各人の自己PRをお願いしてはと考えています。

そこで、私の職業分類はショッピングセンターとなっています、これだけではこの人はどんなことをしておられるのか、また何が得意なのかどんな職業奉仕をしておられるのかなど分かりません。

時間の制約があり十分にお話しできませんがS・Cのことを少しお話させていただきます。昭和47年銀行を退職し大川進一郎と共に住道駅前の野っ原に立ちS・Cの開設にあたりました。業務内容としては大別して「用地交渉 建設計画 テナントの誘致 管理営」といったこととなりますが、私は幸いにしてこれらの業務のすべてに携わることができました。多くを学び経験し日本S・C協会認定のS・C経営士の認定を受けることが出来ました。

また、ポップタウン住道オペラパークは全国およそ3000のS・Cの中から過日、その年度の地域貢献賞という表彰の中でも最も位のある表彰をえました。

用地交渉の話 建設計画では宅地建物取引主任者資格を得ていたこと、銀行の融資業務での設備投資計画案件等が役立ちました。

次にテナントの誘致ですが、S・Cデベロッパーは業態的には不動産業という事かもしれませんが、実は小売業なのです。先代は呉服屋であり、衣料スーパーをしていたものですから随分たすかりました。

管理運営では物件の施設管理は外部委託とし賃貸契約と販売促進の業務が主たる業務になります。契約ごとは大学で法律を学んだことや、金融業務の経験が随分役立ちました。しかし大規模小売店舗法には随分苦労しました、そのお蔭で大東市の小売業の皆さんとは懇意にさせて頂きました。多くの事案を経験することになりますが相手方の弁護士に褒めて頂くようなこともありました。お話ししたいことはまだまだたくさんありますが、ここでロータリーと私の職業のことでガバナー補佐の時、ラジオ大阪でお話ししたCDをお聞きいただき今日の卓話とさせていただきます。

クラブフォーラムの様子

